



9月1日現在の中山	
世帯数	1,363
人口	3,436
【問い合わせ】 中山公民館報編集委員会 58-5822	

### 中山地区初めての避難所開設

台風第5号の接近に伴って8月7日に中山公民館で避難所が開設されました。16時45分に松本市から中山地区の和泉、埴原北、埴原西、埴原東、埴原南の5町会と内田地区の一部に「避難準備・高齢者等避難開始」が発令され、中山公民館と内田体育館が避難所となりました。



防災無線やテレビのテロツ

プ、一斉配信メールの松本安心ネットなどで避難準備の情報が発信されました。18時30分頃から少しずつ人が集まり始め、ピーク時には13人の避難者が公民館に集まりました。避難してきた人は高齢者が多く、地区の民生委員や町会長らが誘導してきたケースが多かったようです。

避難者には備蓄の水や毛布が支給され、昼敷の講座室を中心に体を休めました。避難者の健康を気遣って地区担当の保健師が避難所を訪れ、血圧や健康状態を確認していました。不安な夜を明かした翌朝、市から支給された、お湯を注いで食べることでできるアルファ米などで朝食をとり、お茶を飲みながら談笑した後にそれぞれ帰宅していききました。

避難所開設に携わった公民館主事の柳原さんは「避難者の方は大変な一夜を過ごされた。職員一同協力し、助け合いながらサポートにあたる必要がある」と語っていました。今回の台風接近では大きな被害もなく無事避難所を閉鎖することができました。初めて本格的に避難所を開設したことで、備蓄の食料や設備などの課題があったようにも感じられました。



来年3月には中山地区で避難所開設訓練も予定されているとのこと。今回の避難所開設の経験や反省点を活かして、より良い避難所運営の仕組みを作ることができればよいと思います。

中山地区全体で防災の意識を高め、今後おとずれる可能性のある災害に備えていきたいと思います。

### 中山東花園 ポニー伊藤プレゼンツ 夏のライブ2017 〜古代の御牧で聞く馬頭琴のしらべ〜

地域にすっかり根付いた中山東花園では、8月20日に、夏野菜カレー会&ライブが開催されました。

第2部では馬頭琴演奏者の美炎 (mihō) さんが登場。キーボードやパーカッションも加わりました。

北アルプスを背にし、やや薄曇りのなか、代表の菅谷さんが、満面の笑みを浮かべながらご挨拶。東花園を地域だけでなく、松本市民や、都会の人たちとの交流の場にし、中山の素晴らしいロケーションを見に来て欲しいと語りました。ポニー伊藤さんは実際にポニーを飼育されており、昨年聴いた馬頭琴の演奏に魅せられ、今年も話を進めたそうです。

来場した方は、将来中山に住みたいと思つて、親子農業体験に参加していますと話していました。

第1部ではユージさん(中山棚峯在住)が浜田省吾の曲を5曲歌われました。120人ほどの老若男女は手拍子

最後は農業体験で作ったと

いう、美味しい野菜カレーを頂き、解散となりました。



心も体も満たされたひとときでした。陰で支えていたボランティアの方々の活躍もありました。来年が楽しみです。



シリーズ

# 風を運ぶひと

4

シリーズ4回目は、和泉町会中河原で、こたろうの里地域活動支援センターを開いて6年目の五郎丸優子さんを紹介します。



感じました。また、現在の活動を好意的に見てもらえて嬉しです。

## 「何故中山に？」

蟻ヶ崎に居を据える予定で動いていたが、うまくいかず、中山は街中と近距離、山坂、田畑があり、子育てにはいい環境と決めました。

## 「来てよかったこと」

無事に4人の子どもが感性豊かに育ち、社会人としての人生を送れるのも、中山の風土が培った良い影響もあるのかなあ。

裏山に太陽光発電が建てられてしまう危機感の中、業者に対して反対してくれた地域の力を



## 「最後に一言」

子育てを終えて何を？ 趣味活動だけではどうか。障がいを持った方の社会参加の場として、畑や食事作り。火曜日は地区の高齢者の方と交流の日。土曜日は高齢者へ願いを込めて介護予防。

こたろうの里の周囲の四季折々の姿や、遠くは槍ヶ岳、常念が望める景観は西日本にはない。散歩にも気分が乗るようです。社会的には弱者かもしれないけど、健気に生きようとする姿は何かを感じさせ、昔話や笑いには知恵あり、記憶あり、百歳まで頑張ろうと掛け合うやり取りは、やはり感動です。支援側にもずっとこげがあるけど、皆さん年を重ねても、年とらえずです。

## 第2回終活セミナー開催 講師 木下泰一先生

7月から5回にわたって行われている「終活セミナー」の2回目にあたる「エンディングノートについて」が、8月29日に、中山公民館で開催しました。

最近よく耳にする言葉ですが、その定義は「自分にもし

ものがあつた時に、残された家族が困らないよう、伝えておきたいことをまとめておくノート」とのこと。

しかし、具体的に書く項目をみていくと、実は、書くことによつて、自分と向き合い、今までを振り返る良い機会に

## ふれあい健康教室 男声合唱ミニコンサート開催

8月21日に、中山地区福祉ひろばにて、男声合唱団「コール・ヴォーチェ」のみなさんによるミニコンサートが開かれました。

「コール・ヴォーチェ (Cuore Voce)」とはイタリア語で心の歌声という意味で、今年で発足6年目。メンバーはピアノ演奏者を含め8人



で構成され、合唱を通じた社会福祉活動をされています。

この日、60名を超える参加者の前で、8曲を熱唱。幅広い歌声を披露され、みなさん耳を傾けていました。

また、「コール・ヴォーチェ」のみなさんと、参加者が一緒に歌うコーナーもあり、「翼をください」など、6曲を合唱しました。参加者の歌われている表情を見ると、非常に生き生きとしました。



なることが分かります。

さらに、残りの人生をどう生きていこうか、と考えるきっかけにもつながるのです。



夏休みに大学1年の次男が帰省した。大学で子ども教育を学んでいる彼は、今回中山保育園で保育実習を体験させていただき、年長さんたちと一緒に畑へ行ったり、プールで遊んだりした。

たった1日だったが、先生方からいろいろ教えていただき充実した日になったようだ。彼が保育士になり、中山に戻って働いてくれることに、淡い期待を抱いている。

(M)